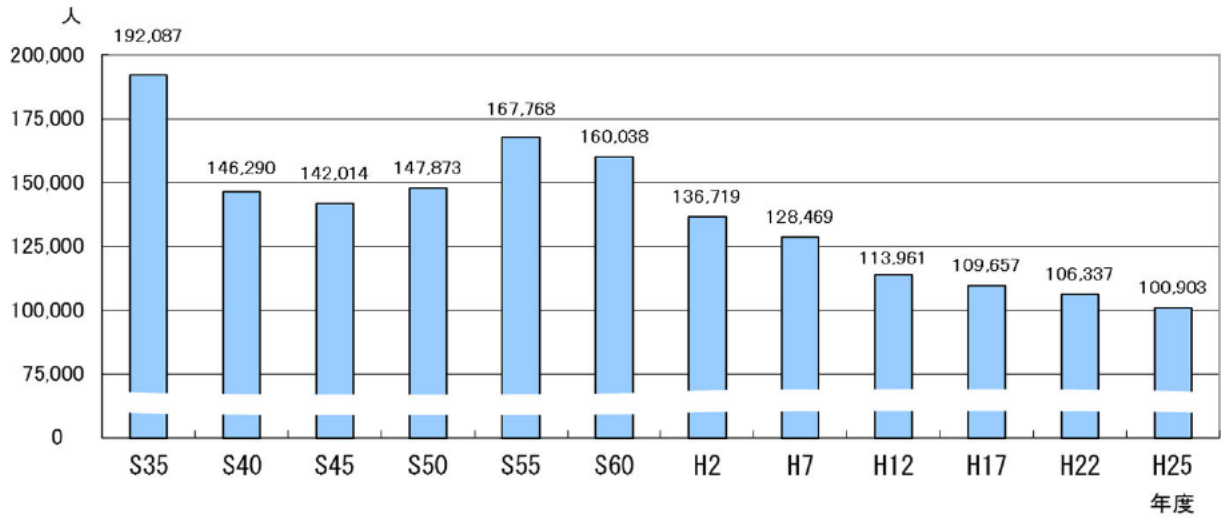


# 特集

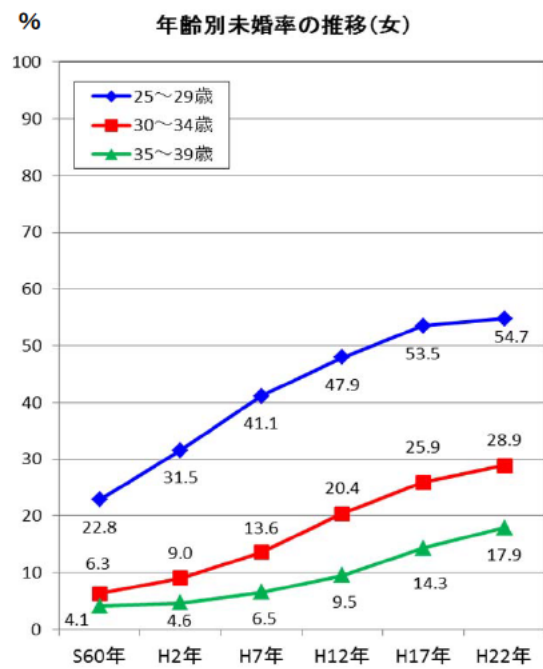
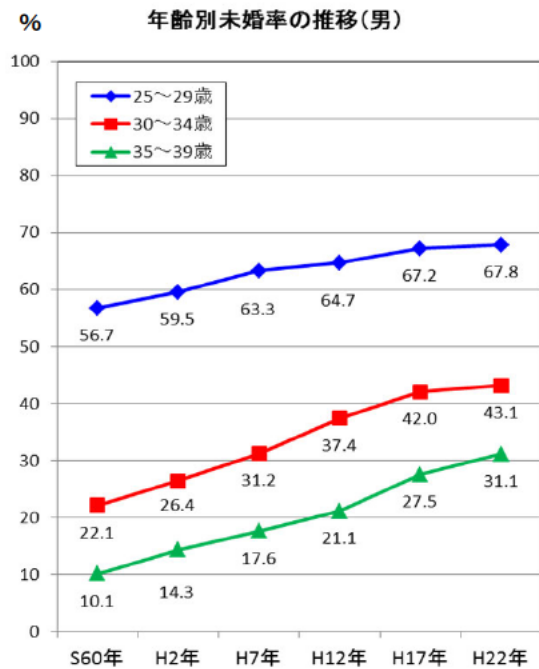
# 少子化の現状と背景

## ● 三重県の児童数の推移



昭和55年度に小学校に在籍した児童（昭和43～48年度生まれ）の数は167,768人でしたが、平成25年度に小学校に在籍した児童（平成13～18年度生まれ）の数は100,903人となっており、昭和55年度と比較して約40%減少しています。

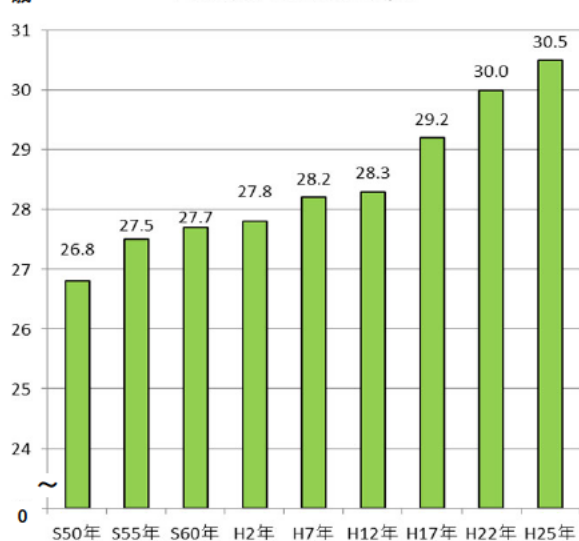
## ● 年齢(男女)別未婚率の推移(三重県)



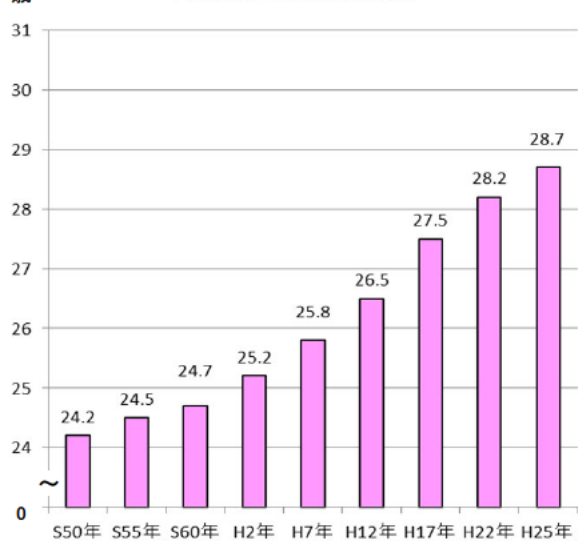
昭和60年～平成22年の未婚率の推移をみると、男性は30代前半、30代後半で大幅に上昇し、女性は20代後半と30代前半で大幅に上昇しています。

## ● 男女別平均初婚年齢の推移(三重県)

平均初婚年齢の推移(男)

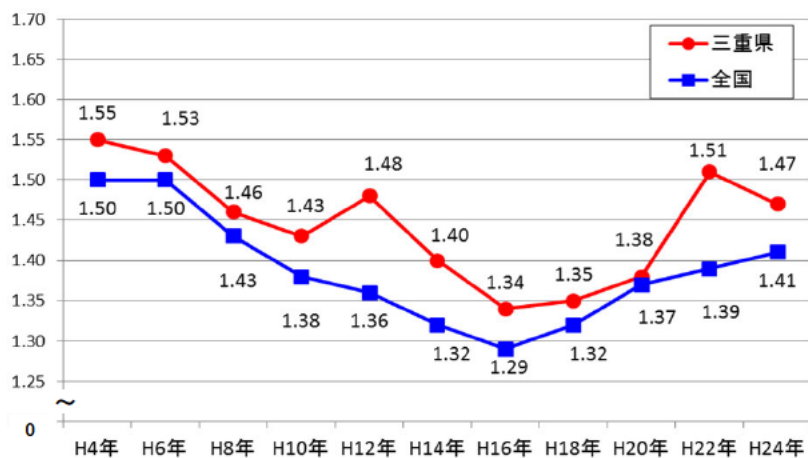


平均初婚年齢の推移(女)



平成25年の平均初婚年齢は男性が30.5歳、女性が28.7歳で、昭和50年と比較して、男性は3.7歳、女性は4.5歳上昇しています。

## ● 合計特殊出生率の推移



三重県の合計特殊出生率は、平成16年の1.34を最低値として、その後上昇傾向にあり全国平均を上回って推移しており、平成24年は1.47となっています。

このような状況の中、三重県では、子ども施策や少子化対策の中期的な計画「希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」に基づき、「結婚・妊娠・子育てなどの希望が叶い、すべての子どもが豊かに育つことのできる三重」を目指して、切れ目のない支援に取り組むこととしています。

### 【資料出所】

文部科学省「学校基本調査」、総務省統計局「国勢調査」、厚生労働省「人口動態統計」